

GREEN RADER



A-Policy【重点事業方針】

令和6年度 生産振興部の取組み

令和6年度 生産販売部 販売流通企画課の取組み

令和6年度 生産販売部 営業課の取組み

A-Reports

- | | |
|---|------------------------------------|
| ・近畿大学で「花贈り体験イベント」…………… 04 | ・「子どもの体験・学び応援事業」に参加し県産農産物をPR …… 07 |
| ・新幹線でシャクヤクを輸送 鮮度抜群な状態で消費者にお届け …… 04 | ・いよいよ野菜シーズン! 名古屋市内でレタスの重点販売 …… 07 |
| ・「A・コープまごころ宅配センター」開所式…………… 05 | ・「JA農機&資材フェスタ2024」…………… 08 |
| ・(株)サラダクラブでカットレタス増量企画…………… 05 | ・新採用職員紹介…………… 09 |
| ・JAタウンアワード2023「全農長野 僕らはおいしい応援団」が1位! …… 06 | ・JA全農長野の事業現況…………… 10 |
| ・(株)美山で県産ハクサイ使用「いちおしキムチシリーズ」 | ・7月2日は「夏の長野県産レタスの日」…………… 10 |
| 増量&農産物プレゼントキャンペーン…………… 06 | ・7月のラジオ番組表…………… 10 |
| | ・編集後記…………… 10 |

生産振興部

令和6年度生産振興部の取組み

J A全農長野生産振興部は、野菜・果樹の生産振興や、優良種苗の安定供給、営農技術員の指導体制の強化に向けたシステム開発、安全安心な農産物の生産体制、技術情報誌の発行など生産現場を軸に事業展開を行っています。

進めることと生産出荷量の拡大を目指す参ります。



平高畝整形機（ベッドマイスター）施工の様子

を図っています。

また、りんご苗木事業では、J A出資法人に生産委託し、フェザー苗木等の生産拡大を図り、令和5年度



フェザー苗生産圃場

3 J Aで開始しました。

今後、りんご高密度栽培における「圃場カルテシステム」の開発を行い、県内J Aへの提案

および普及を進めて参ります。



作成された圃場カルテ

■生産振興（野菜）

令和6年度は野菜の生産振興として、アスパラガスの生産拡大において新たな栽培技術「枠板式高畝栽培」の実証試験を行っています。果菜類（ピーマン、きゅうり）の単収向上と生産拡大を目的に、品種試験および簡易雨よけハウスによる普及モデル圃を設置し実証を行っています。

また、近年の異常気象や園芸作物の安定生産、水田転作のための排水対策として、カットブレイカーや平高畝整形機（ベッドマイスター）の実演、実証を県下各地で進めています。

果菜類の生産安定に向けた施設化や栽培技術・品種等の実証を継続して行い、実証結果による栽培技術の普及を

■生産振興（果樹）

りんごの高密度栽培の普及拡大に向け、剪定講習会やりんご高密度栽培研究会を開催し、栽培安定に向けた技術指導を進めています。

また、災害等に強い施設化として、令和6年度はコンクリートトレリスの普及推進に向けて、低コストによるコンクリートトレリスの実証を行っています。

さらに、高温対策における栽培技術や資材について県試験場等と連携し検討を進めます。

■優良種苗の安定生産

野菜種苗センターでは、高品質苗の生産を行うため、生産工程管理の徹底

■生産振興および営農技術員の指導体制強化に向けたシステム開発

生産者の反収向上および営農技術員の指導力向上を目的に、「圃場カルテシステム」の開発を進めています。

圃場カルテシステムは圃場毎の栽培・生育情報、作業情報を一元的に集約することで、「圃場カルテ」を作成し、当年度の栽培結果を振り返り、次年度の栽培に反映させることを目的としています。令和5年度は圃場カルテシステム（品目／アスパラガス）の運用を

■安全安心な農産物の供給体制の推進

J A長野県グループでは、生産者の農業適正使用の検証と農産物の安全安心体制を向上することを目的に、年間1,700検体の残留農薬自主検査を行っています。

また、農林水産省「農業生産工程管理（GAP）」の共通基盤に関するガイドライン」に完全準拠した「長野県GAP基準」「長野県適正農業規範」を県と連携して策定し、長野県GAP基準に沿った「長野県GAPチェックシート【生産者確認表】」による取り組みを進めています。

生産振興部では生産振興、新たな栽培技術や施設化、生産拡大を目的としたシステム開発をJ Aと一体となつて引き続き取り組んで参ります。

販売流通
企画課

令和6年度生産販売部販売流通企画課の取組み

JA全農長野 生産販売部 販売流通企画課は、系統共販体制の強化並びに系統事業の利用推進に取り組みます。特に、DX化への取組みは、アナログ作業からの脱却と合わせ、従来の作業業務の見直しと意識改革により作業の効率化を進めます。

2024年を迎え、輸送問題に対しては継続した輸送体制に向け物流改善に引き続き取り組みを進めます。

また、本県産農産物の魅力を発信し、本県産支援・応援への意識高揚や購入機会および認知度向上を高める農産物総合宣伝事業の展開に取り組みます。

2024年度重点目標の達成に向けた当課の重点方針は次のとおりです。

1. 生産販売業務のデジタル戦略を推進します。

(1) 青果物販売管理システムは、出荷報告・予約集計が稼働するなか、利用JA・品目を増やし、次年度に全機能の稼働と県下全JAの運用を目指して開発に取り組みます。



青果物販売管理システム

(2) 販売業務の作業効率化と集積したデータを生産販売に活用し、JAとの事業連携による本県系統販売力の強化を図ります。

(3) システム構築を進めると共に、JAとも連携して業務のDX化を進め、販売業務作業の効率化と意識改革・改善に取り組みます。

2. 物流改善および集荷所・共選所運用対策に取り組みます。

(1) 輸送効率化には、パレット輸送が不可欠であり、パレット輸送率を上げる取組みを進めるため、レンタルパレット運用・パレット適合容器の検討・対応を進めます。



レンタルパレットを活用した物流

(2) 24年を迎え法令順守のなか「運搬ないリスク」回避には、積み込み・荷下ろし時の2時間ルール等、課題解決に向け荷主・着荷主ともに取り組みを進めます。

(3) 日常業務等の見直しによる効率的な出荷対応の促進を図ります。

3. 農産物に関わる総合的消費宣伝・商品開発・付加価値販売に取り組みます。

(1) 「JA全農長野」、「三ツ山マーク」、「信州力(しんしゅうりき)」の商標を活用し、本県系統組織イメージの



商品開発の一例
(フリーズドライ製品と
果実コンポート)



イベントでの花育事業

(2) 系統生産販売事業の持続的発展に向け、食育や花育事業に取り組みます。

(3) 県産青果物の消費拡大・系統集荷に寄与する商品開発や価値観を高めた商品開発に取り組みます。

営業課

令和6年度生産販売部営業課の取組み

■令和5年度販売経過

営業課では、量販店や生協だけでなく、加工・業務用実需者、カタログギフトなど様々な業態の取引先に対し、JAの協力を得ながら既存取引品目の維持、拡大とともに新規顧客の開拓を進めました。量販店における店頭試食宣伝会も再開される中、総合品目での企画の投入や売り場コンテスト、料理研究家をお招きした料理教室などの実施により消費者への長野県産農産物の訴求力アップを進めました。また、対面による商談も積極的に展開し、取引先との意思疎通を図りながら営業販売を進めてきました。令和5年度売上供給高は、144.1億円（前年対比106%）となりました。

■令和6年度の重点取組事項

1. 生産者手取りの最大化に向けた営業・販売力の強化

(1) 積極的営業展開により既存重点顧客および帳合先との関係を強化し、総合品目供給に向けた取引量および取

引品目の拡充を図り、事業計画160億円の達成に向け営業力を一層強化します。

(2) 既存の流通ルートに拘らず新規優良顧客の開拓を行い、産地および取引先のメリットを創出します。

(3) 実需者への安定供給のため、市場流通も含めた多様な供給ルートを検討します。

(4) 需要変化や多様化する小売形態へ対応するため、実需者要望を的確に把握し、柔軟かつスピーディーな業務推進および販売促進活動を行います。

(5) 産地に対する直販流通への理解促進を図り集荷力を強化し、顧客要請に応じられる商品供給力を高めます。

2. 商品開発力・提案力強化による販売拡大

(1) 既存委託取引先との連携強化による、産地パッケージ商品を新規創出します。

(2) 県産加工製品の開発に伴い、商流・帳合機能を発揮します。

3. マーケティング情報に基づく生産

販売提案の取り組み強化

(1) 県本部内にも情報共有（連携）を図り、JA対応含めより円滑な取引の実践と営業推進を行います。

(2) 営業活動により得られた情報に基づき、新規品目・新規規格・商品企画の提案と供給ルートを開発します。

(3) 生産振興部ならびに関係部署と連携し、需要に応じた品目の生産振興と産地発信による品目提案を進め、産地開発と商品提案力を強化します。

4. 集出荷・輸送・荷降の効率化、生産コスト上昇対策

(1) 直販青果物輸送における課題に対し、取引先への要請を含め改善対策を進めます。

(2) 調整保管・配送機能等を具備する取引先と連携し、輸送効率化に向けた研究・実践を行います。

(3) 生産コスト抑制に向けたリパック品等のアイテム整理や容器の効率化、適正化を研究実践します。

5. 債権管理の徹底

(1) 請求・精算、代金回収まで一連の業

務を担う課であることの認識をもち、債権管理を徹底し営業推進を展開します。

(単位：千円、%)

大品目	6年度計画	5年度実績	実績対比
直販果実	2,630,000	2,498,583	105
直販野菜	5,670,000	4,950,823	115
直販きのこ	5,020,000	4,713,698	106
直販花き	150,000	108,846	138
(直販合計)	13,470,000	12,271,950	110
加工製品	300,000	226,322	133
全農青果C	2,660,000	2,401,993	111
直販その他	20,000	5,284	346
分量振替	▲ 450,000	▲ 493,366	91
合計	16,000,000	14,412,183	111

近畿大学で

「花贈り体験イベント」

J A全農長野大阪販売事務所は5月29日(水)、京阪神地区信州花き販売推進協議会(会員/関西方面花き取引市場7社、全農長野)の活動として、近畿大学の学生を対象に「花贈り体験イベント」を開催し、長野県産の花きをPRしました。

同大学協力のもと東大阪キャンパス内の講義室をお借りし、シャクヤク、アルストロメリア、ハイブリッドスターチスを使った花束レッスンと、花にどんなイメージを持っているか調査するアンケートを行いました。同大学文化会華道部の学生に事前レッスンを受けた上で講師やイベントスタッフとして協力していただきました。

華道部の学生からは「花の魅力を知ることができた大変良いイベントだった」「機会があればまた是非参加したい」と好評でした。

イベントと同時に行った花の意識調査アンケートは、協力いただいた学生にシャクヤクを使った花束と県

産りんご100%ジュースをプレゼントしました。

今回のイベントは、花き卸売市場と大学を巻き込んだ大規模で先進的な取り組みとなり、参加者・主催者ともに手ごたえを感じました。同協議会は、今後も同大学との連携による花き消費宣伝事業を展開する予定です。



ブーケの作り方の説明を受ける学生

新幹線でシャクヤクを輸送

鮮度抜群な状態で消費者にお届け

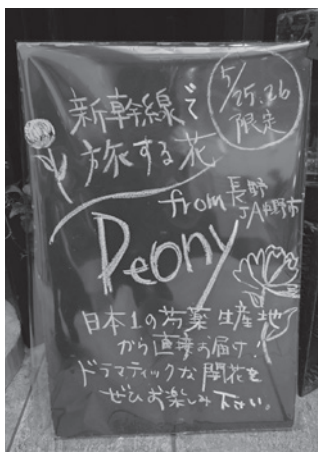
J A全農長野東京販売事務所と北信事業所生産販売課は5月25日(土)、(株)大田花きとJR東日本グループと連携し、都内の青山フラワーマーケットにて花き新幹線輸送フェアを実施しました。今回輸送した品目は、5月中下旬に出荷最盛期を迎えるシャクヤクです。J

A中野市、J Aながのみゆきブロックより、薄いピンク系、白系など様々な品種を計20箱出荷いただき、午前中の新幹線に乗せて午後よりエキュート品川店、二子玉川ライズ店、グランスタ東京八重洲南口店(Ⅱ表紙右下)の3店舗にてフェアを開催しました。新幹線輸送は「産地直送」「鮮度抜群」という付加価値をアピールすることができ、各店舗のシャクヤク売り場では多くのお客様が足を止め商品を手に取り、レジには長蛇の列ができました。店舗によると、誕生日プレゼントとして、またインターナショナルスクールの卒業式ともタイミングが重なり、卒業祝いとして多くのお客様が購入されているとのことでした。

近年、季節商材としての認知、需要が高まっているシャクヤクですが、今年は昨年のような低温被害による出荷ロスも少なく、順調な生育、出荷となっています。今後も長野県産の花きをひとりでも多くのお客様に届けられるよう様々な企画を実施して参ります。



積み込みの様子



エキュート品川店

大阪販売事務所

東京販売事務所・北信事業所生産販売課

「A・コープまごころ宅配センター」開所式

宅配事業の(株)長野県A・コープへの事業移管に伴い、5月30日(木)に同社の「A・コープまごころ宅配センター」の開所式が行われました。

同センターは「A・コープあずさ店」内に併設され、県内宅配利用者へのお届け商品のピッキング・出荷を行います。

開所式には来賓として、JAながの小池宏明(営業経済担当常務)をはじめ宮澤正志(経済部長)、竹内弘之(屋代支所長)にご臨席いただきました。

冒頭、(株)長野県A・コープ山崎進社長のあいさつでは、二年余りの準備期間を経て、6月3日より始まる宅配事業に向け、まずは安全第一で関係者・スタッフ間の連携により、スムーズに開始できるよう各部署協力をしていくよう述べられました。また宅配事業はもとも農繁期に食材購入が時間的に困難となる農家のために始まった事業であるが、時代の変化により地域のライフラインとなり、まさに命綱とも言える事業であるとも述べられました。

JAながの小池常務とJA全農長野高木副本部長からはそれぞれ、A・コープまごころ宅配事業への今後の期待と、県下4,000

戸を超える組合員・利用者へ安心・安全・健康をコンセプトにこだわりの食材を届ける事業として益々の発展を祈願するとの激励がありました。

式典では新たな宅配センターのお披露目と事業継承によりまごころ宅配の新たな道を切り開くことができるようテープカットを行いました。(表紙上)

宅配事業はJAグループによる歴史ある事業です。(株)長野県A・コープへの事業移管後も利用者に愛され、連携して発展させていく事業となるよう協力し、取り組んで参ります。



商品のピッキング作業

(株)サラダクラブで カットレタス増量企画

JA全農長野営業課がレタスを供給している(株)サラダクラブは6月17日～7月21日の1カ月間、カットレタス等3商品の25%増量企画を実施しました。

これまでも長野県産レタスの出荷最盛期に合わせて「カットレタス」増量企画を行っていましたが、今年は創立25周年企画としてカットレタスに加えて「リーフミックス」「リーフミックスビッグパック」の3商品を25%増量し、全国で販売しました。

増量企画と同時に、対象商品の外装に印刷されているバーコードを切り取り、2枚1口で応募すると本県産シャインマスカットが100名様に当たるキャンペーンも行いました。

全農長野営業課は、今後も取引先と連携し、県産青果物の販売促進企画を提案・実施し、消費拡大に取り組んで参ります。



JAタウンアワード2023 「全農長野 僕らはおいしい応援団」 が1位!

JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」のJAタウンアワード2023のシヨップアワード部門で、JA全農長野が運営するシヨップ「全農長野 僕らはおいしい応援団」が1位を受賞しました。2022年に続き2連覇の達成です。

JAタウンアワードとは、当該年度の年間売り上げ伸長率や新規商品出品数などを総合的に評価し、最もポイントを獲得したシヨップおよび売上金額が一番の商品を表彰するもので、「シヨップアワード」と「商品アワード」部門があります。

全農長野生活課は、商品数を意識して一つの品目でも複数の規格を用意し、価格帯を広げ細かなニーズに対応しました。この1年間の努力が実を結び、令和5年度の売り上げ目標を達成しただけでなく、今年も1位を受賞することができました。これもひとえに長野県産農畜産物・加工品をご愛顧、ご支持いただいた消費者の皆様、関係各所の皆様、そして、おいしく素晴らしい農畜産物を育て上げた長野県内の農家の皆

様・加工品を作り上げていただいた企業様のご尽力があつての受賞です。

長野県では、6月下旬からのあんず・ブルーベリー、7月中旬からのスイカ、7月下旬からのモモなど、旬の果物の収穫・出荷が続々と始まります。今後も、長野県産のおいしい農畜産物・加工品を買うならJAタウン「全農長野 僕らはおいしい応援団」と言っていたただけるECサイトを目指します。



1位のトロフィーとJAタウンオフィシャルサポーターの秋元真夏さんからのお祝いの色紙

(株)美山で県産ハクサイ使用 「いちおしキムチシリーズ」 増量&農産物 プレゼントキャンペーン

JA全農長野営業課から長期契約でハクサイを供給している(株)美山は、キムチの増量キャンペーンと県産農産物プレゼントキャンペーンを行います。

増量企画の対象商品は「いちおしキムチ」「いちおしキムチ辛口」「いちおしキムチ大容量」「いちおしキムチ焼肉屋の味」の4種類で、7月上旬から8月上旬の1カ月限定でいずれも20g増量します。

また、増量企画終了後の8月上旬から9月上旬には、長野県産「シャインマスカット」「コシヒカリ」「きのこと詰め合わせセット」が当たるキャンペーンを行います。この機会に「いちおしキムチ」をとおして長野県産ハクサイをぜひご賞味ください。



販売流通企画課

「子どもの体験・学び応援事業」に参加し県産農産物をPR

J A全農長野生産販売部は「長野市子どもの体験・学び応援事業（みらいハッピープロジェクト）」に事業者登録し、食育・花育体験を通じて小中学生と子育て・孫育て世代に県産農産物をPRする取り組みを始めました。

長野市がスポーツや文化芸術、自然体験などの多様なプログラムに利用可能な電子ポイントを配布し子供の成長を支援する事業で、6月1日(土)・2日(日)に長野市で開催された「大人の文化祭」に出展した長野市広報ブースに全農長野も参加しました。

「信州の花でブーケづくり体験」では、出荷シーズンを迎えたシャクヤクやアルストロメリア・スターチスを使ってブーケのお花屋さんから花材の組み合わせ方とラッピングのポイントを紹介し、「信州きのこ博士クイズ」ではきのこの生産・保存方法・食べ方に関するクイズに挑戦してもらい信州力ノベルティなどをプレゼントしました。

電子ポイントを利用して参加した小中学生はもちろん、就学前のお子さんや中

高年の来場者にも楽しみながら農産物を学んでいただける機会となりました。
長野県産農産物のブランド力向上を目的に、農産物品目総合宣伝事業として継続的な宣伝活動を実施しています。



名古屋販売事務所

いよいよ野菜シーズン！ 名古屋市内でレタスの重点販売

J A全農長野名古屋販売事務所は、本格的な野菜の出荷スタートに合わせ、本年度の長野県産野菜の売り場づくりを目的に、5月上旬から名古屋市内の多くの量販店で重点的にレタス類の販売を行いました。

名古屋市内では暑くなり始める時期で、新鮮な野菜を使ったサラダ需要として実施店舗、お客様の双方から好評で、売れ行きも好調でした。

4月の不安定な天候により、卸売会社をはじめ仲卸、実需者などの関係者は順調な出荷となるか気をもんでいましたが、関係JAの協力により、無事に数多くのレタスを販売することができ、今後の長野県野菜の売り場作りにつながりました。

長野県から一番近い大消費地である名古屋では、本年度も多くの消費宣伝会を行い、長野県産野菜を販売して参ります。



新鮮なレタスが並んだ売り場

「JA農機&資材フェスタ2024」 進化する農業次世代につなげよう

長野県農協生産資材事業推進協議会

（事務局）JA全農長野農業機械課

は7月19日（金）と20日（土）の両日、長野市エムウェーブで「JA農機&資材フェスタ2024」を開催します。

農機メーカー、肥料農薬などの資材関連メーカー55社以上が出席し、農業機械の展示即売はもちろん、施肥や防除など幅広い情報を発信します。

農機コーナーでは、会場に機械が集結し、普段は見られない大型機械や最新・省力化機械等を展示します。自動走行農機・ドローン・ラジコン草刈機・営農支援システムなどはもちろん、使って便利な小型農機まで多数を出品予定です。

■注目ポイント

1. 10社以上の企業によるミニ講習会を実施します。スマート農業への取り組みはもちろん、肥料・農薬・資材まで農業に役立つ情報をご紹介します！

2. 生産資材コーナーでは、施肥・防

除等に関する様々なご相談を承ります。

3. 生産者7千人以上の声を反映した「共同購入コンバインYH448」とJA農機担当者が自信をもってお薦めする「JA長野県推奨型式」を展示します。

4. 革新的な種子処理技術「リソケア」を利用した新しい米づくり、最先端の栽培管理支援システム「ザルビオ」について、特設コーナーにてご紹介いたします。

5. 屋外では、最先端の草刈機関連の実演会を実施します。

6. 会場で20万円以上のご成約でもれなく成約記念品をプレゼントします。

このほか、農作業安全コーナー、くらしのサポート、キッズコーナー、農産物直売コーナー、キッチンカー、スタンプリーとご家族でお楽しみいただけるブースが盛りだくさんです。

皆様のご来場をお待ちしております。

日時：令和6年7月19日（金）9:00～16:00
20日（土）8:30～14:30

会場：長野市オリンピック記念アリーナ
エムウェーブ（長野市大字北長池195）

主催：長野県農協生産資材事業推進協議会

入場料：無料

※裏表紙もご覧ください



前回（2023年）の様子

農機&資材が大集合！



ミニ講習会スケジュール（それぞれ概ね20分間程度）

参加企業	講習題目	開催時間
株式会社関東平信	ISEKI 環境安全型スマート農業への取り組み	7/19 (金) 11:10～
新栄中野クボタ	KSAS を活用したスマート農業の紹介	10:20～
サンマリアアグリジャパン	サンマリアが提案するスマート農業情報	13:40～
株式会社山梨市所	ウルトラファインバブルの農業活用と商品紹介	11:35～
大島農機	乾燥機・殺菌機について	10:45～
みのる産業	農作物病害診断サービスのご提案・吸引式 LED 誘虫器のご提案 活性式予備滅虫器のご提案	12:00～ 10:20～
日本農薬	AI 病害診断サービスについて	9:05～
BASF ジャパン	バスタグの上手な使い方	9:30～
協友アグリ	FG 雷で雷の静電気が変わる！水害にサッと広がる！「雷撃＆雷力」のFG 雷のご紹介	10:45～ 12:25～
クミアイ化学工業	農薬散布は簡単。簡単な時代に1分30秒の紹介	12:50～ 12:50～
石原バイオサイエンス	天敵保護装置「バンカーシート」を用いた新たなIPM技術	14:05～
北興化学工業	非選択性芽室処理剤「ザクザク」のご紹介	11:35～ 13:15～
川島コープアグリ	農薬散布・電機システム制御機の紹介	9:55～ 13:40～
開発肥料	クイック施肥システム 34 の特長と各農薬物に対する効果について	14:55～ 9:30～
新日アグリ	有機肥料・堆肥の特長と使用方法、堆肥入りおすめ肥料の紹介	14:30～ 9:55～
全農長野生産資材課	一からわかる肥料の基礎（NPKの読み方と使い方）	11:10～
全農長野生産資材課	わたしの肥料・土壌診断について	12:00～
長野県庁×大塚製薬	熱中症対策の取り組みについて	12:25～

実演コーナー（場所：北側芝生面）

ラジコン草刈機実演コーナー

各社注目の製品が勢ぞろい！
メーカー別の違いをご体感ください！
開催時間（両日）
①10:30～
②13:00～

オートモア実演コーナー

自動で草刈・充電を行うロボット草刈機
草刈作業の労力を大幅に軽減します。

生産資材コーナー

施設から防除まで
ニーズに沿って
ご提案します。
JAファームも
出展します。



※このチラシに掲載中の情報は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。写真はすべてイメージです。

新採用職員紹介

令和6年度の新採用職員を順次ご紹介します

生産購買部

包装資材課

さわやなぎ まど か
澤柳 円香



標高 1300m 太陽の一番近くまで行く段ボールです！

はじめまして、包装資材課の澤柳円香と申します。出身は飯田市です。趣味はスポーツ観戦と湯につかることです。実家が農業を営んでいることもあり、幼少期から農作物に触れ、高校から大学まで農業に関わる勉強をしてきましたが、初めて関わる分野も多く勉強の毎日です。

包装資材課は農物流通の要です。広い視野で農業について学び、いち早く皆様のお役に立てるよう精一杯努めます。よろしくお願いいたします。

生産購買部

生産資材課

そ が はや と
曽我 隼杜



ドローン散布試験の際に
撮影した写真です

はじめまして、生産購買部生産資材課の曽我と申します。出身は小布施町です。祖父母が果実やお米を栽培していたこともあり、幼い頃から農業に親しみを持っていました。趣味は音楽鑑賞や小旅行に出掛けることです。

農業と肥料の受発注や電話対応などをさせていただいており、未熟な点も多々ありますが、知識を身に付け、成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

生産購買部

生産資材課

まちだ さ き
町田 早希



農作業用の衣料品はJAファーム店で！

はじめまして、生産資材課資材店舗グループの町田早希と申します。出身は長野市です。趣味は小学校から始めたバレーボールで、現在は地区のバレーボールチームに参加し、練習しています。

JAファーム店の衣料品を担当させていただいており、商品など覚えることが多く、勉強の日々です。未熟な部分も多くありますが、一日でも早く力になれるように努力していきます。よろしくお願いいたします。

生活部

生活課

こ ばやし ゆう き
小林 祐輝



現在担当している商品の味噌とパンです

はじめまして、生活課所属の小林祐輝と申します。出身は長野市で中学、高校と陸上部に所属しており、1500mなどの長距離を走っていました。今でも走ることは続けており、休日は長野市内をランニングしております。

農業に関する知識などは乏しいですが、祖母の家にあるリンゴ畑を走り回って育ちました。一刻も早く自分が担当する仕事や農業に関する知識を覚え、周りの先輩方のお手を煩わせないようになりたいです。

JA全農長野の事業現況▶

令和6年度5月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		4	0	0
野菜種苗センター		57	97	103
生産振興部計		61	104	110
米	穀	2,630	105	130
果実花き		990	116	101
野菜きのこ		5,988	99	102
営業		1,022	90	101
生産販売部計		10,630	101	108
包装資材		895	97	85
生産資材		2,558	109	106
農業機械		1,204	101	103
施設住宅		601	146	85
生産購買部計		5,258	108	99
畜産酪農		4,827	106	101
三岳牧場		51	85	83
SPF繁殖センター		47	89	105
八ヶ岳牧場		50	101	122
畜産酪農部計		4,976	106	101
燃料・ホームエネルギー		4,158	99	101
SS協同経営		1,319	111	101
生活		1,558	113	102
生活部計		7,035	104	101
長野県本部計		27,960	104	103

(内部販売高含む)

7月2日は

夏の長野県産 レタスの日



JA全農長野は、7(な)月2(つ)日を「夏の長野県産レタスの日」に制定しました。

長野県産レタスは、全国シェア1位を誇る野菜です。特に7月はレタスの出荷最盛期で、多くの皆様に長野県産レタスのおいしさを知っていただきたいという思いで記念日に登録しました。

この夏、7月2日「夏の長野県産レタスの日」のプロモーション活動をSNSや全国の量販店で行います。



7月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
7/9(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえがりでい内 「いいJAん家庭菜園」	JAファーム
7/24(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえがりでい内 「暮らしの応援団」	畜産酪農課

グリーンリーダー
X(旧ツイッター)
はこちら



グリーンリーダー
WEB版はこちら



編集後記

7月中旬に梅雨が明ければ格別の夏の到来となります。昨年は観測史上最高に暑い夏となりましたが、今年もエルニーニョ現象の影響で猛暑日が増える予想されていますので、熱中症・夏バテの予防が重要です。

夏のスタミナ回復源といえば、ビタミンA・Dが豊富でビタミンB1含有量も高い「うなぎ」。今年の土用の丑の日は7月24日と8月5日(二の丑)の2回です。しかしながらシラスウナギ乱獲により国内および中国での養殖量が激減し、昔に比べそのお値段は上昇、最安値であった平成14年と比べ2倍〜2.5倍となっています。安値の時代は「手抜き」の贅沢料理「など」が揶揄されたほどの簡便食材であり身近な食材でした。時代の流れとは言え随分と変わったものです。

今年は更なる円安の進行、コスト上昇が影響しており、残念ながらなかなか手を出しづらい高級食材となりそうです。1尾の蒲焼が半身の蒲焼になり、細切りして櫃まぶし風が鰻玉風になり、他の食材と合わせて鰻ちらし寿司になったとしても、やはり土用の丑には「うなぎ」で食卓を囲みたいと思います。

ちなみに、丑の日は「丑」の付く食べ物を食べると夏負けしないといわれていますので、丑〃牛・信州和牛で焼肉もおすすです。

(一)

どなたでも
入場無料!!

25th JA農機&資材フェスタ 2024

～進化する農業 次世代につなげよう!～

7月19日金・20日土

9:00～16:00 8:30～14:30

開催場所 エムウェーブ
長野市オリンピック記念アリーナ

ご来場
プレゼント

数量限定
当日ご来場の
お客様に
記念品を
プレゼント!!



※画像はイメージです。

ご成約
プレゼント

当日20万円以上ご成約の
お客様に記念品を
プレゼント!!



特設コーナー

注目 1 リソケアコーナー

新しい米づくり! 革新的な直播技術!
専用田植え機とともにご提案します。

直播だけ、苗立ちが良い。
秘伝は種子にある。



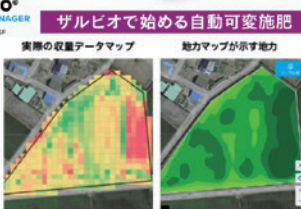
注目 2 ザルビオコーナー

衛星画像 × AI分析による
最先端の栽培管理支援シ
ステム。
「地力マップ・生育マップ」
を活用したスマート農業。

xarvio®
FIELD MANAGER
powered by BASF

農家様
事例

収穫時のムラと
ザルビオの地力が
ほぼ一致



注目 3 JA推奨型式コーナー

一括購入によりコスト低減。
JA担当者「おすすめ」の農業機械を紹介します。

全国7千人以上の稲作生産者の声を反映

生産者&JA 共同購入コンバイン

ヤンマーコンバイン

YH448AEJU メーカー希望小売価格 7,370,000円(税込)



4条刈り
51.5馬力
48.4馬力

スタンプラリー 開催!

会場内すべての
スタンプを集めると、
数量限定
「なめたけ」
プレゼント!!



県内産農産物 直売コーナー開設!!

キッチンカー出店

多彩なメニューからお選びいただけます。



キッズクラフトコーナー

ステキにデコってオリジナルグッズを手に入ろう! 先着300名のお子様限定



会場へのアクセス



駐車場入口について

お車でお越しの際、
「木工団地南入口」交差点から
南ゲートに入場していただくと
スムーズです。
ご協力をお願いします。



●主催:長野県農協生産資材事業推進協議会

●後援:長野県・JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」..... <https://www.ja-town.com>

